

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

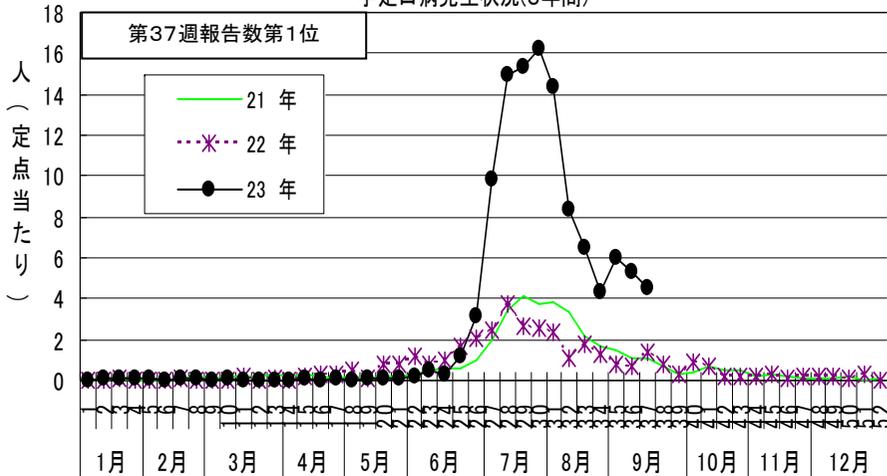
平成23年9月12日（月）～9月18日（日）〔平成23年第37週〕の感染症発生状況

第37週で定点報告数の多かった疾病は、1)手足口病 2)感染性胃腸炎 3)ヘルパンギーナでした。

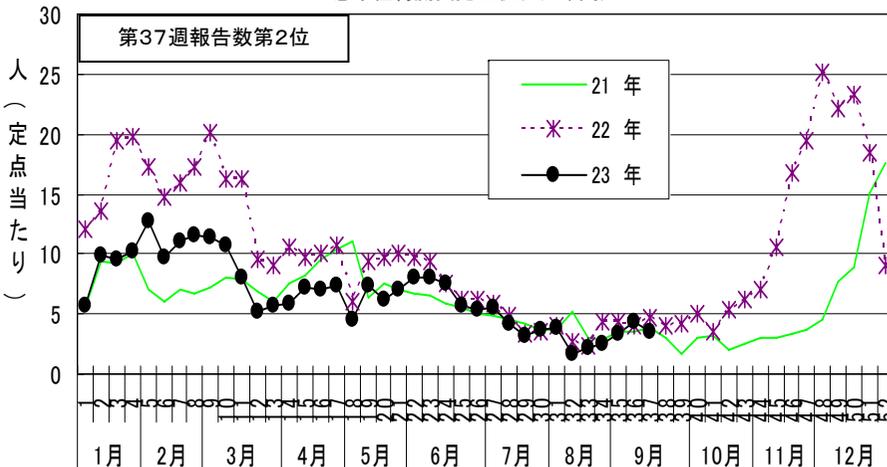
手足口病は定点当たり4.48人と前週（5.27）より患者報告数は減少しましたが、依然として流行発生警報基準値（定点当たり5人）に近いレベルで推移していますので、引き続き予防対策の徹底が重要です。

感染性胃腸炎は定点当たり3.52人と前週（4.33）より患者報告数は減少しましたが、例年秋から冬にかけて患者報告数が大幅に増加しますので、今後の発生動向に注意が必要です。 ※デング熱の発生届が1件（推定感染経路：蚊、推定感染地域：インド）ありました。

手足口病発生状況(3年間)



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



みなさん、レジオネラ症って知っていますか！？

近日、レジオネラ症による患者が増加しており、川崎市でも、8月に4件の発生がありました。レジオネラ症は、健康で抵抗力の強い人は発病しにくく、乳幼児や高齢者、病気にかかっている人など抵抗力の弱い人が発病しやすい傾向があります。

レジオネラ症ってどんな感染症？

原因：レジオネラ属菌による細菌感染症

潜伏期間：2～10日間

（ポンティアック熱は1～2日間）

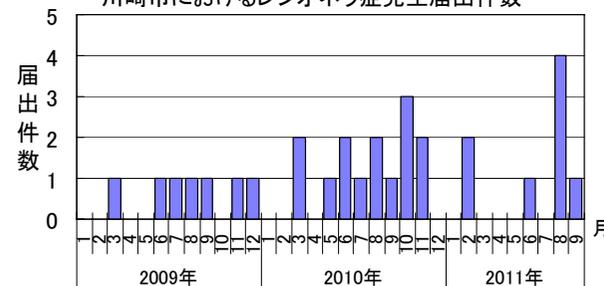
感染経路

循環式浴槽、加湿器、給湯設備、人工の滝や噴水などが感染源になります。特にジャグジーや打たせ湯などで発生するエアロゾル（霧状になった水滴）とともにレジオネラ菌が空中に飛散し、それを人が吸い込むことで感染することが多くあります。

症状

肺炎が主症状です。また、倦怠感、筋肉痛、発熱、咳、胸の痛みなどがある他に、中枢神経症状が早期に出るのも特徴です。有効な治療がなされないと、致死率は60～70%に上ります。

川崎市におけるレジオネラ症発生届出件数



レジオネラ症は早期治療が重要です。症状があった場合には、すぐに医療機関に受診しましょう。 ※同じレジオネラ属菌に感染しても、ポンティアック熱型の症状（突然の発熱、悪寒、筋肉痛などのインフルエンザ様症状）が出て、数日のうちに治る場合もあります。



発行 川崎市健康福祉局健康安全室・衛生研究所・各区保健福祉センター（保健所）
（問い合わせ先） 044-200-2412